

2013 年度

## 第6回通常総会 議案書

日 時 2014 年 7 月 21 日 (月・祝) 15:30 ~ 16:45

場 所 豊田都市交通研究所 3 階大会議室 (豊田市元城町 3-17 元城庁舎西棟)

### 通常総会 次第

1. 開会のあいさつ
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選出
4. 定足数の確認
5. 議案の審議 ページ数

【審議事項】	第 1 号議案	2013 年度事業報告	1
	第 2 号議案	2013 年度収支決算	14
【報告事項】	1	2014 年度事業計画	19
	2	2014 年度収支予算	23
6. 議長解任
7. 閉会

年度期間

2013 (H25) 年度 : 2013 年 6 月 ~ 2014 年 5 月

2014 (H26) 年度 : 2014 年 6 月 ~ 2015 年 5 月

\* 文中の平成表記の年度は 4 月 ~ 3 月をしめす

## 審議事項

### 第1号議案 2013年度事業報告（期間 2013年6月1日から2014年5月31日まで）

#### 【概要】

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト（以下、当会）は、豊田市環境学習施設 eco-T（以下、eco-T）で活動する市民が中心となって設立した NPO 法人です。参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会（42万人のエコライフとよた）の実現に寄与することを目的に、2009年3月19日に法人登記されました。

eco-T は、2004年から市民参画で計画され、開館時には、豊田市から委託を受けた特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会のもと、豊田市民が活動を行ってきました。中部リサイクル運動市民の会は、豊田市の施設は豊田市民で担うべきとして、並行して NPO 設立支援を行い、2011年4月からは、当会が豊田市から運営業務を受託。名実ともに市民による環境学習施設の運営が本格的にスタートしました。旧清掃工場解体工事における施設利用休止期間があり来館者は落ち込んだものの、平成25年度は過去最高の23,954人をお迎えすることができました。

また、「環境学習 Web サイトの保守更新業務（3年目）」や小規模事業所向けの CO<sub>2</sub> 削減プログラムである「さんしゅう ECO 倶楽部の事務局支援（3年目）」などを継続して行いました。

2012年4月からは、豊田市中心市街地（参合館南側）に事務所を設置して、新たな展開も模索してきました。

設立5年目に当たる2013年度の取り組みを紹介します。

#### 【事業活動】

##### 1. 環境学習事業

###### （1）環境学習講座の実施

###### ①eco-Tでの取り組み

eco-Tでは、公共施設見学の一環で、57校（平成25年度）、65校（平成26年度）の小学4年生受入れを行いました。

公共施設見学の前後に出前授業を行い、環境学習を深める「くらしの環境学習推進校」は、13校（平成25年度）から16校（平成26年度）に増えに、知名度や学校のニーズの高まりを感じました。また、低学年や高学年向けの環境学習講座を展開し、全学年を対象にした授業ができるようになりました。

環境学習を希望する団体に、インタープリターやスタッフを派遣し講座を実施しました。対象は、学校以外にも要望があれば、企業、こども会、自治区、行政など。自治区や子育てサークル向けに、出前講座や渡刈クリーンセンター見学ツアーのチラシの配布を行いました。

対象	目標	実績
小学4年生の公共施設見学（平成25年度→平成26年度）	—	57校（25年度） 65校（26年度）
くらしの環境学習推進校（小学4年生対象） 25年度→26年度	推進校13校 授業数46回	13校→16校 54回→現在進行形
低学年向け（1～3年生）環境学習出前講座	7校	3校（25年度）
高学年向け（5、6年生）環境学習出前講座	15校	13校（25年度）

eco-T に来館した環境学習（公共施設見学以外）	6 校	3 校（25 年度）
小・中学校、高校・大学、企業、こども会、自治区・サークル、行政など、環境学習を実施しようとしている各種団体	eco-T25 件 当会直接 5 件	24 件

## ②eco-T 以外での取り組み

ごみ減量推進課が市民との共働の取り組みを増やしています。

ごみ減量推進課に依頼のある自治区向けの出前講座の講師役に希望するインタープリターを紹介しました。

ごみ減量推進課へインタープリターの紹介、講座の実施 （実施講座数は、当会の直接的な業務ではありません）	—	紹介 14 人 （講座 14 回）
--	---	----------------------

## （2）環境学習を推進する人材の育成

eco-T のインタープリターや学習コーディネーター、豊田市環境学習サイト「hibico」の記者の育成を行いました。

### ①eco-T での取り組み

eco-T のインタープリターは、活動者数と回数、質などを勘案して、経験年数に応じて、リーダー役やサポート役をお願いするなど、適材適所を意識しています。併せて、ふりかえりの充実をはかる方法を検討しました。

なお、インタープリターの中には諸事情で活動を休止せざるをえない方もいたため、2013 年 3 月に継続確認を行った結果、8 人の方が卒業することになりました。

項目	内容	目標	実績
インタープリター増員	渡刈クリーンセンターの見学案内や eco-T の展示解説担当人材	新規 10 人	5 人増 登録数 62 人 （4 人休止中）
インタープリテーションの充実	展示学習プログラムの活用 新しいプログラムの開発	2 件 1 件	展示改修 3 件 4 件
学習コーディネーター増員	学校と eco-T の橋渡し役の人数を増やして、負担を減らす	3 人増（計 10 人）	3 人 OJT 現在 7 人
学習コーディネータースキルアップ	くらしの環境学習推進事業のコーディネートを通して、学校のニーズに応える力を向上する。	基本メニューによる授業 4 プログラムのほか、先生の要望をより汲み取った応用プログラムの実施	説明会や学習会、経験交流会を通して、ヒアリング能力の向上、プログラムの改善などを実施

### ②豊田市環境学習 Web サイト/hibico の取り組み

hibico の記者は、新人記者はインタビューの場に同席をすることから始め、サブ役、メイン役と、実地体験（OJT）をもとにしたトレーニングを実施しています。

環境学習情報サイト「hibico」の記者育成	2012年6月1日から運用を開始した豊田市環境学習情報サイト「hibico」の取材・記事作成をする人材育成	2人増員（計5人） 年間30本取材予定	2人増、2人卒 計5人 32記事更新
------------------------	---	------------------------	--------------------------

### ③その他

ボランティア活動の機会提供	eco-Tが主催・出展するイベントで大学生等にボランティアの機会を提供	機会提供5回 ボランティア活動者のべ100人	機会提供5回 ボランティア活動者のべ85人
インターン受入れ	エコ人やeco-Tでボランティア活動したい人の受入れ	7人のべ8日	豊田工業高等専門学校2人 豊田東高校教職員1人 （社会奉仕体験）のべ4日

### （3）豊田市環境基本計画など市の施策に関する学習会

42万人のエコライフを実現するためには、豊田市の施策を学び、共働をもとに環境活動を促進していく必要があります。

今年度は下記の学習会を実施しました。

日時	タイトル	参加人数	内容
1月9日（木） 13:30 ～15:00	いいじゃん！ とよたの再生可能エネルギー推進 条例を勉強しよう！	10人	・豊田市の再エネの取り組み （理事による話題提供） ・再エネ条例を読み込もう ・パブリックコメントを考えよう （各人ひとつ提案）
1月17日（金） 13:30 ～16:00	知れば、なっとく、おとく！ 豊田市のエコ	18人	・環境基本計画の説明 （講師：環境政策課職員）
1月18日（土） 時間は同じ	～環境基本計画学習会～	16人	・グループで意見交換、発表 ・質疑

### （4）ESDに関する事業

「持続可能な開発のための教育（ESD）」の最終年が2014年。11月に、名古屋市と岡山県で「ユネスコ世界会議」が開催されます。それに合わせて、当会もESD関連の行事に協力しました。

#### ①豊田市交流館を核としたESDの普及啓発事業（愛知県教育委員会生涯学習課補助事業）

- ・実施体制 豊田市社会部共働推進室生涯学習課  
（公財）豊田市文化振興財団交流館課ならびに交流館  
NPO法人とよたエコ人プロジェクト 三者による共働
- ・役割 当会は、一連の研修の企画、講師コーディネート、記録などを担当しました。
- ・実施概要

#### 1) 行政職員向け

日時：平成25年8月9日（金）13:30～16:30

人数：22人

<p>講師：新海洋子氏（EPO 中部）</p> <p>内容：・講義：ESD の歴史と必要性</p> <p>・グループワーク：市の事業と ESD とのつながりを知る</p>
<p><b>2) 交流館長・主任主事向け</b></p> <p>日時：平成 25 年 9 月 11 日（水） 13：30～16：30</p> <p>人数：54 人</p> <p>講師：池田満之氏（岡山市京山地区 ESD 推進協議会会長、ESD-J 副代表理事）</p> <p>重森しおり氏（岡山市立中央公民館主任（ESD 世界大会推進局兼務）</p> <p>内容：・講義：世界、日本の ESD の動き、公民館を拠点とした ESD 活動</p> <p>・ワークショップ：「自館で取り組んでいる事業に ESD の視点を入れるのに必要な要素は？」～アイデア出し・全体共有～</p>
<p><b>3) 交流館主任主事向け</b></p> <p>日時：平成 25 年 12 月 4 日（水） 13：30～16：30</p> <p>人数：28 人</p> <p>講師：伊沢令子氏（NPO 法人 NIED・国際理解教育センター 代表理事）</p> <p>内容：・ESD の出発点 ～今なぜ ESD なのか！？～</p> <p>・ESD の視点でふりかえる交流館事業</p> <p>・私たちによる私たちのための ESD 的交流館講座のポイント</p>
<p><b>4) 市民向け ESD 共働まちづくりワークショップ</b></p> <p>日時：・スタッフ研修：平成 25 年 12 月 18 日（水） 13：30～16：30</p> <p>・本番：平成 26 年 1 月 26 日（日） 13：00～16：30</p> <p>人数：本番：28 人（市民 13 人、行政職員 9 人、交流館職員 6 人）、見学者 23 人</p> <p>講師：釘山健一氏（会議ファシリテーター普及協会 代表）</p> <p>小野寺郷子氏（同会 副代表）</p> <p>内容：梅坪台地区ともっと楽しく住みやすくするためのアイデアを考えよう</p>

・総括（豊田市生涯学習課より）

当該事業を通し、ESD が交流館事業をさらにステップアップさせるためのツールであるとともに、将来にわたって住みやすいまちをつくるためのヒントとして使うことができることを学んだ。

当該事業をきっかけに、26 年度の交流館運営基本方針に ESD を盛りこむこととなった。今後も、地域活動の拠点施設である交流館が核となり、市民が主体性を持って持続可能な社会を形成するために、ESD を生かした取り組みを進めていきたい。

・事例発表

2014 年 2 月 20 日に開催した公民館を核とした社会教育活性化フォーラム（愛知県教育委員会主催）と、2 月 28 日に文部科学省担当者ヒアリングで取り組みの発表を行った。

②その他

- ・中部 ESD 拠点プロジェクト「企業と NPO」に出席
  - 第 1 回「企業が取り組む環境保全の現在」（2013 年 10 月 17 日（木））
  - 第 2 回「企業が取り組む農と食の現在」（11 月 14 日（木））
- ・ESD フェスタ IN 豊田産業文化センター（11 月 30 日（土）、12 月 1 日（日））  
eco-T からふるしきワークショップや 3R カードゲームを出展

## 2. 環境学習等への支援、連携事業

### (1) 環境イベント等への企画・運営支援、ブース出展

交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行いました。要請に応じた実施ですので、目標値は定めませんが、本来業務に支障がない範囲で引き受けていきます。

出展の際には、以下の点を心掛けて行います。

- ・ イベントの部分的なプロデュースや運営、ごみ減量・グリーン電力化に向けた提案
- ・ リユースイベント（かえっこバザールなど）の地域展開や新しい催し物の開発
- ・ eco-T やエコ人のPRを主目的とした、楽しみの要素を中心としたブース出展

#### ①リユースイベント

##### 1) かえっこバザールの開催

10回 1,207人

##### 2) エコットフェスタでのリユース広場（回収量）

回収品目	H25年度	H26年度	前年比
本	993冊	636冊	36%減少
子ども服	2,543枚	2,281枚	10%減少
陶磁器・ガラス製食器	780kg	1,351kg	73%増加
持参者	316人	233人	27%減少

\*開催日：平成25年度 2013年6月2日（日）

平成26年度 2014年6月1日（日）

#### ②楽しみ要素のブース出展（交流館ふれあいまつり、ふれ愛フェスタなど）

33回 約4,600人

出展の一例）トコ積み木、缶バッジ作り、ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作など

### (2) さんしゅう ECO 倶楽部 事務局運営支援

2011年度より愛知県地球温暖化防止活動推進センターや豊田市、豊田商工会議所青年部をはじめとする関係者と共働して「とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム」を組織し、小規模事業者の省エネ・エコ活動の推進を支援してきました。

今年度は、ホームページを立ち上げ、取り組みの情報発信をするとともに、組織（コンソーシアム）や活動をシンプル化し、登録事業所数とCO<sub>2</sub>削減量の増加を目指しました。

また環境省補助事業であることから、活動の自立化の検討も行いました。

#### 〔主な取り組み〕

##### ①基本活動

- ・ 活動事業所48（毎月電気使用量とエコ活動のチェックを実施）
- ・ ニュースレター発行（年4回）
- ・ 勉強会、報告会の開催

## ②省エネ具体化活動

- ・省エネ診断 自社診断支援2回（意見交換会）、ウォークスルー診断・計測診断各3カ所
- ・LED 照明器具共同購入の実施 →P7参照

## ③その他

- ・地球温暖化防止活動推進センターの全国事例として視察対象として取り上げられた
- ・平成26年度は、さんしゅうECO倶楽部の拡大版として学校を通じた家庭への省エネ活動を企画（環境省に申請中）

### 〔3年間の推移〕

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計
事業所数	35	59	48	98/のべ142
CO <sub>2</sub> 削減量 (ton)	29	52	71	152
全体削減率 (%)	7.2	1.8	6.0	3.4
外部評価	—	低炭素杯2013ファイナリストとしてプレゼン	各地の地球温暖化防止センターが視察	—

### （3）とよた環境学習・環境活動支援拠点の運営（シェアオフィス）

当会の事務所をエコライフとよたを実現する市民団体等に対してシェアする取り組みを2014年4月より始めました。近隣には、市役所、とよた市民活動センター、図書館などがあるため、支援内容は、オフィス機能を中心にしていきます。

なお、一般社団法人物々交換局と、6月1日から作業場所として利用する契約準備を進めています。

#### 〔継続〕

- ・さんしゅうECO倶楽部事務局

#### 〔問合せ内容〕

- ・郵便受け、集会所（会議スペース）、作業場所として利用したい 3件  
農業サークル、子育てサークル、コミュニティビジネスNPO法人
- ・利用団体 1件

### （4）その他

日常的に相談対応や活動支援を行いました。一例を以下に示します。

- ・起業セミナーの企画、講師選定
- ・公共施設の発注形態（委託、指定管理等）の特徴に関する視察対応
- ・都市と中山間地の環境活動（保全活動や地域づくり、コミュニティ活動など）に関する視察対応
- ・住宅展示場で開催するイベントの企画
- ・廃材を材料にした積み木の普及
- ・とよたエコフルタウンに企業が設置する施設の運営・活用方法
- ・再生可能エネルギー普及に関する他事例、しくみづくり など

### 3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

#### (1) LED 照明器具の共同購入

昨年度、試行的に「直管形 LED ランプ搭載器具共同購入キャンペーン」を行いました。この経験をもとに、さらに省エネ・節電がすすむように、今年度も引き続き実施しました。昨年度は直管形蛍光灯タイプのみを対象にしましたが、今回は LED 照明カタログ掲載器具全般に対象を拡大しました。

また、協力メーカーより①チラシの提供、②機器代金に共同購入事務局手数料を設定、③機器の説明に営業スタッフの派遣、という協力をいただきました。

設置工事は、商工会議所青年部に所属する電気工事会社「豊田電気マン倶楽部」の協力のもとおこなわれました。

・ 募集期間 2013 年 11 月 1 日（金）～12 月 20 日（金）

・ 結 果 見積り：4 社 6 事業所 387 台

結 果：2 社 49 台

\* 契約には至っていませんが、1 事業所の方を協力メーカーの工場（春日井市）に視察案内しました。

#### (2) 緑のカーテン普及事業

省エネに楽しくおいしくつながる「緑のカーテン」の普及啓発を行います。

eco-T 入口の緑のトンネルは、ゴーヤ、ひょうたん、へちま、かぼちゃなどを育て、2013 年 8 月 31 日に「収穫祭 ～緑のトンネルからの恵み～」を開催して収穫を分かち合いました。

緑のトンネルは 10 月に撤去後し、eco-T の冬～春には、ワーキンググループによるビオラの栽培を行いました。

なお、緑のトンネルチームと eco-T ガーデニングクラブが話し合った結果、平成 26 年度より統合して新・eco-T ガーデニングクラブとして再編成を行いました。引き続き、緑のカーテンの普及と来館者に楽しんでもらう冬の花壇づくりと、年間を通じたプランターの管理を行っていきます。

なお、エコットフェスタ 2014 では、ゴーヤ、フウセンカズラ等、624 個の苗を配布しました。この苗は、メンバーが自ら育苗したものです。

#### (3) リユースイベントの地域展開

「かえっこバザール」を eco-T のイベントだけにせず、楽しくリユースに取り組むきっかけにしておらうと、交流館などに働きかけを行いました。結果、井郷交流館サマーフェスタに加え、朝日丘交流館の異世代交流サロンのひとつに導入してもらうことができました。

また、4 月 1 日からリユース工房の受付業務を受託したこともあり、当会へ相談のあるイベントに対して、出張リユース工房の提案を行いました。イベント自体が採用されなかったため実現に至りませんでした。新たな機会に提案をしていきます。

#### (4) 地産地食・地域活性化の推進

イベント開催等の機会を利用して、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売することで、交流を図り、地産地食の推進や障がい者の就労支援など、自分達が暮らす地域を自分達が（買い）支えることの大切さを PR します。

2013 年 6 月 2 日に開催されたエコットフェスタでは、屋外のブースにて、豊田市産の食材にこだわった加工品や足湯などの出展など、2014 年 6 月 1 日に開催されたエコットフェスタでは、従来お



願っていた授産施設グループのほか、おいでん・さんそんセンターなどから紹介してもらった地域の特産品や地産地消など、エコライフとよたに取り組む出店者 15 団体(個人)の協力をいただきました。

#### 4. 調査研究、政策提言事業

##### (1) 活動者を増やす試み研究会

もう一步エコライフを進めるためには、実践的な活動者を育成することが必要であると考え、研究会のような議論する場が必要と思いましたが、開催するに至りませんでした。

しかし、とよた市民活動センターからの相談で、「とよた流起業家セミナー」の企画等の相談を受け、プレ講座(2月22日(土))の講師の選定、シナリオを作成しました。また、本講座を開催するに当たり、有志で講座の内容を考える意見交換会を開催するように促し、2回の企画会議を開催しました。

本講座は、2014年6月21日(土)を皮切りに、3月まで毎月1回開催される予定です。

当会の事業は実施できませんでしたが、とよた市民活動センターの講座に参画することで、目的を果たすことができました。

##### (2) 現在、参加している取り組み

- ・ 豊田市環境審議委員
- ・ 豊田市環境学習連携会議
- ・ 愛知県環境学習施設等連絡協議会
- ・ とよた市民活動センター運営委員、市民活動フェスタアドバイザー(11/29開催予定)
- ・ 千年委員会(豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換)
- ・ オールとよたオンパク事業
- ・ 共働ひろげ隊(地域支援課)

#### 5. 情報受発信事業

##### (1) 環境学習 Web サイトの更新

昨年度に引き続き、豊田市環境学習サイトの制作・更新を行いました。

事業報告書の一部を引用します。

###### ●サイトのアクセス状況

①エコファミリー宣言サイト：アクセス数が1.98倍に上昇(2012年比、以下同様)しているが、アクセス数を増やすには豊田市HP以外から流入させる必要がある。

②hibico：アクセスは2.3倍に上昇しているが、都市部(東京、大阪、名古屋)からのアクセスが多くを占めている。困りごとを解決する記事の掲載と豊田市民向けの広報が必要。

③とよたエコフルタウン：日本テレビの24時間テレビの会場となったため8月24日のアクセスが突出して大きくなっているが、おしなべて2倍の増加。施設の知名度があがるとともにアクセス数も増えている。利用を促進するキーワードを掲載するなど見てもらう工夫が必要である。

④私たちがごみのゆくえ：「Yahoo!きっず」に掲載された影響でアクセス数が6.6倍。夏休み、冬休み期間中のアクセス低下がみられるため小学校の授業と連動していることが予測できる。

●家庭のエコ度をチェックしよう！（エコファミリー向け行動検証サイト）

- ・夏と冬に各3カ月間エコファミリー向け行動検証を行った。
- ・行動検証の中身と結果は以下の通り

①季節のエコ行動の実施状況を「はい・いいえ」で回答する行動検証 夏：182件、冬 129件

②単月の電気使用量、太陽光売電量を昨年と比較とその理由

	夏	冬
電気使用量	131件 平均 4.24%減少	101件 3.96%減少
太陽光売電量*	17件	13件

\*太陽光売電量については、比較できるデータが少ないため省略

●豊田市のお母さんのエコライフを発信するホームページ「hibico」更新

- ・更新体制を構築し、毎月5日、15日、25日を目安に記事を更新した。年間 32 本更新しました。

**（2）団体の情報発信の充実**

当会の情報誌「季刊 えこびと（年4回予定）」の発行ならびに、会員メーリングリストの運用、団体HPの更新、リーフレットの見直しなど、会員を中心に当会の活動を伝える情報提供を行いました。

①季刊エコびとの発行

号	発行日	主な記事
11	2013年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集「IPCC第5次報告書」報告会に参加して</li> <li>・とよたのマチねた（まちなか博覧会）</li> <li>・活動レポート ほか</li> </ul>
12	2014年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集 2013年度のeco-T講演会概要 エコットフォーラム&amp;未来へのエコットーク</li> <li>・エコメンみ〜つけた♪（西村新さん）</li> <li>・とよたのマチねた紹介（リユース工房／とよたまち博）</li> <li>・活動レポート</li> </ul>

\*体制を見直したため、発行が不定期になってしまいました。紙面をA4判に改定しました。

②会員MLの運用

2013年6月～2014年5月までの投稿件数 82件の情報提供（毎月6～7件程度）

主に、講座・イベント情報のほか、環境に関するニュース、雑学などを配信しています。

メールアドレス〔t-ecobito@googlegroups.com〕から配信され、件名に〔エコ人 P「番号」〕と、表示されています。配信を希望される方、ご迷惑な方は、事務局までご連絡ください。

③ホームページの運用

当会ホームページ、さんしゅうECO倶楽部といった独自の情報発信が必要なプロジェクトのホームページの運用を行いました。

- ・とよたエコ人プロジェクト <http://t-ecobito.jimdo.com/>

必要な最低限の情報や最新情報の掲載は行っていますが、素人作成のため見づらくなっています。

- ・さんしゅう ECO 倶楽部 <http://sansyuueco.jimdo.com/>  
平成 25 年度の取り組みを中心に活動概要や最新の情報など掲載しました。  
\*両サイトとも無料サービスの範囲内で運用しています。

### (3) シンポジウム等の開催

特に実績はありません。

## 6. 環境学習施設等の管理運営事業

### (1) 豊田市環境学習施設 eco-T 運営

平成 25 年度は、旧工場解体工事ならびに跡地整備が終了し、駐車場利用制限の問題が解決し、広くなったことで来館者の利便性が向上しました。また、ワークショップルームを2分割する運用をはじめ、来館者・利用者のニーズに添えてきました。現在、施設利用は、ほぼ予約がいっぱいとなっています。

来館者対応の面では、さらなるインタープリテーションの向上を目指し「教えるから聞く」の充実をモットーに、ふりかえりシートの改善や good question (子どもたちへのよい質問) の蓄積を行います。インタープリター同士、お互いに褒め合うことで良好なコミュニケーションが生まれ、今まで聞けなかったことも話しやすくなり、不安解消にも役だっているように思います。

来館者の案内に1階展示室の展示ユニットをうまく活用できていませんでしたが、新展示のお披露目の際にスタンプラリー形式をとり、体験数に応じてエコポイントを付与することで、来館者に対して展示学習プログラムの体験が誘いやすくなりました。来館者からも「やってみたい」と要望を受け、インタープリターが解説する良好な関係ができました。

エコライフ講座は、人気が高く定員オーバーとなり参加を断る講座があります。断った人数を把握し、断って終わりではなく、断った方に作り方の提供や講座の再設定を検討し、来館機会の増加や満足度の向上を目指します。

詳しくは、eco-T 情報コーナーに設置している報告書をご覧ください。

### (2) リユース工房受付業務

豊田市ごみ減量推進課が運営する「リユース工房」の受付業務を、2014 年 4 月から行うことになりました。eco-T の運営と連携して①来館者数を増やすこと、②リユースの啓発を強化すること、③業務効率を上げることが期待されています。

まだ始まったばかりですが、リユース家具をこれまで 40 点展示していたものを 50 点に増やしたことで、エコットフェスタ 2014 では、スタンプラリーのポイントにしたこともあり、340 人の来場(過去最高)がありました。

## 7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

缶バッチマシンの貸し出しを行いました。

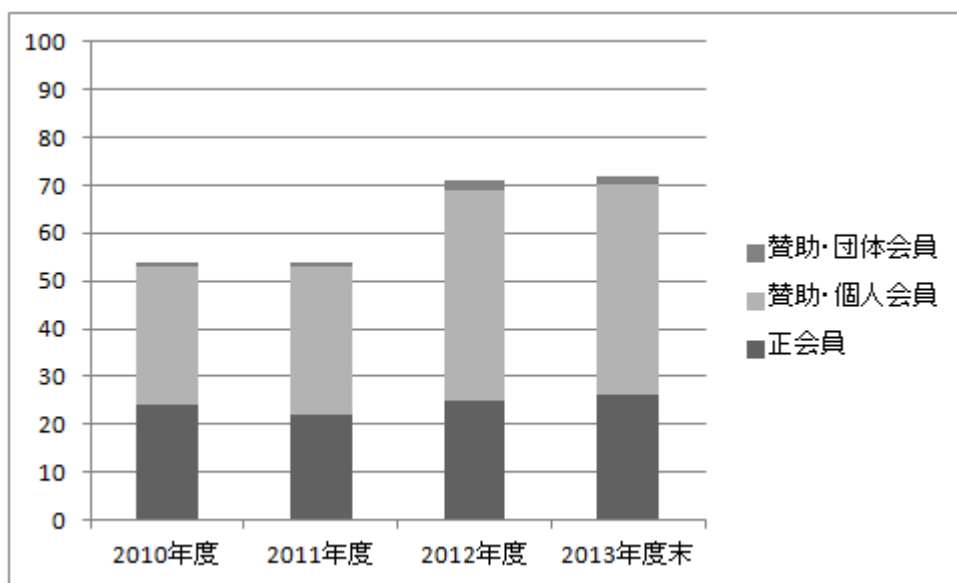
## 【法人運営】

### 1. 会員

当会の活動に賛同し一緒に活動してくれる仲間を募りました。

種別	目標	2013年度末	2010年度	2011年	2012年
正会員	30人	26人	24人	22人	25人
賛助・個人会員	70人	44人	29人	31人	44人
賛助・団体会員	—	2団体	1団体	1団体	2団体
合計	100人	72	54	53	71

会員数の推移



### 2. 寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、寄付を募りました。

- ・フィリピンの台風の被災者支援（中部NGOおうえん募金） 8,000円
- ・くすのき募金
- ・とよたエコ人プロジェクト事務所 6,393円

### 3. 会議の開催

#### (1) 通常総会

第5回通常総会を2013年8月25日（日）に、豊田産業文化センター41会議室で開催しました。

総会終了後に、グループになり意見交換を15分間行い全体に共有しました。なお、疑問等については後日書面で全員に回答しています。

第6回通常総会は、2014年7月21日（月・祝）に、とよたエコフルタウンの見学会、地産地消レストランホガラカでの懇親会と合わせて開催する予定です。

## (2) 理事会

役員の改選もありましたので、前半は隔週程度、後半は月に1回程度開催し、事業計画や進行管理、運営上の課題等について議論しました。中期ビジョンの策定や新規事業づくりには至っておらず今後の課題となっています。

回	日程	主な内容
1	2013年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年度事業計画</li> <li>・総会議案書</li> </ul>
2	7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会議案書</li> <li>・理事、役員への期待</li> <li>・今後の運営（事務局体制）</li> </ul>
3	8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事選任（総会の役員の改選を受けて）</li> </ul>
4	9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の役割や組織の運営体制</li> <li>・H25年度 eco-T の事業計画づくり</li> </ul>
5	9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の役割や組織の運営体制</li> <li>・小学校の環境学習の促進ガイドブックづくり（モリコロ基金申請事業）</li> </ul>
6	10月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事あいさつ、総会後の意見交換の回答</li> <li>・代表理事の労災保険特別加入</li> <li>・めぞろ組織像、eco-T の運営の課題や方針</li> </ul>
7	10月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の eco-T の運営</li> <li>・事業区分の見直し</li> </ul>
8	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リユース工場の運営</li> <li>・とよたエコフルタウン出展企業からの相談</li> </ul>
9	12月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員獲得</li> <li>・スタッフの雇用</li> </ul>
10	12月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金計画</li> </ul>
11	2014年 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関への融資の申込み</li> </ul>
12	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員獲得</li> <li>・平成26年度の事務局体制</li> </ul>
13	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の決算状況</li> <li>・モリコロ基金申請事業の二次審査の内容</li> <li>・さんしゅう ECO 倶楽部の地球環境基金申請</li> </ul>
14	4月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規スタッフ（パートタイム）の求人状況</li> <li>・通勤手当の見直し</li> </ul>
15	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集チラシと働きかけ方</li> <li>・総会内容と日程調整</li> </ul>

#### 4. 理事・職員研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が参加しました。

##### 〔視察先一覧〕

日時	視察先
8月10日(土)	なごみん横丁(岡崎市北部地域交流センターなごみん)
8月21日(水)	豊橋市視聴覚教育センター
9月28日(土)	とよたこども商店街(とよた産業フェスタ2013内、豊田スタジアム)
10月13日(日)	浜松市西部清掃工場 えこはま
11月4日(月)	三重県諏訪公園交流館 こども四日市
11月7日(木)	豊田市民芸館、豊田市郷土資料館、豊田市近代の産業とくらし発見館
11月13日(水)	福井県こども歴史文化館
12月15日(日)	とよたこども商店街(豊田スタジアム)
1月25日(土)	とよたキッズタウン(市青少年センター)
2月10日(月)	こうべ環境未来館、豊中伊丹スリーR・センター

##### 〔外部研修への参加一覧〕

日時	会場	研修会のタイトル等	人数
6月12日(水)	あいち環境学習プラザ	環境学習コーディネーター研修	1
8月31日(土)	大阪市立大学 文化交流センター	おもちゃが語る循環のくらし ～ごみになるおもちゃ あなたならどうする?～	1
10月17日(木)	名古屋市商工会議所 ビル	第8回企業&NPO 共働アイデアコンテスト	2
11月7日(木)、 21日(木)、 12月5日(木)、 19日(木)	とよた市民活動センター	ファシリテーション講座「参加してよかった!と思える会議の場づくり」	2
11月19日(火)	豊田産業文化センター	自分の未来、今の延長線でOK? ～今を変えると、未来が変わる!過去まで変わる～	1
11月30日(土) ～12月1日(日)	東京都 多摩永山情報教育センター	11/30「ESD多摩地区コンソーシアム研究発表会」 12/1「第5回ユネスコスクール全国大会」	1
12月6日(金)、 11日(水)	名古屋市 タスクール	12/6「アイズブレイクの極意」 12/11「問題解決の極意」	1
2月9日(日)	兵庫県 西宮市役所東館	環境教育等に関する教職員・環境保全活動を担う者に向けた研修	1
3月3日(月)	豊田市役所	共働広め隊養成塾	1
3月6日(木)	とよた市民活動センター	運営団体の考え方とコツ 「運営が楽になる管理術」	2
3月12日(水)	産業文化センター	地域資源を活用した環境ビジネスセミナー	2
3月15日(土) ～16(日)	京都府 京エコロジーセンター	環境教育 実践で使えるノウハウを徹底的に 身につけよう	1
3月19日(水) ～22日(土)	東京都 御茶ノ水コンファレンス センター ほか	アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・ アカデミー2014 ～NPOの次世代リーダー育成プログラム～	1

以上

第2号議案 2013年度収支決算 (期間 2013年6月1日から2014年5月31日まで)

1. 活動計算書 (二期比較)

				(単位:円)	
科目	2013年度	2012年度			備考(2013年度)
<b>I 経常収益</b>					
<b>1 受取会費</b>					
・正会員受取会費	230,000		250,000		正会員10,000円×23名
・賛助会員(個人)受取会費	54,000		48,000		賛助会員(個人)39名、1,000円×54口
・賛助会員(団体)受取会費	18,000	302,000	21,000	319,000	賛助会員(団体)1団体、3,000円×6口
<b>2 事業収益</b>					
・環境学習事業	353,650		0		交流館を核としたESDの普及啓発など
・環境学習等への支援・連携事業	332,780		3,497,288		環境学習・環境活動支援拠点
・環境配慮型商品等の普及促進事業	809,153		60,000		LED照明器具共同購入
・情報受発信事業	2,520,000		2,962,400		環境学習Webサイト更新
・環境学習施設等の管理運営事業	42,084,000		42,800,000		豊田市環境学習施設eco-T、リユース工房
・その他の事業	68,655	46,168,238	78,200	49,397,888	街パジャなど
<b>3 受取助成金</b>					
	166,000	166,000	0	0	あいちモリコロ基金
<b>4 受取寄付金</b>					
	106,393	106,393	26,907	26,907	
<b>5 その他収益</b>					
・受取利息	1,794		2,088		
・雑収益	7,178	8,972	480	2,568	配当金など
<b>経常収益合計</b>	<b>46,751,603</b>		<b>49,746,363</b>		
<b>II 経常費用</b>					
<b>1 事業費</b>					
事業運営に関する費用					
*各部門で発生した共同コストは、部門別収支には1名(兼務)、チーム単位1名など 賞与含む					
1) 人件費					課長アルバイト兼務、学芸コーディネーター兼務、環境学習Web制作など *各部門と管理部門に共通する経費は、部門別収支額によって控除しております
・給与手当	19,958,529		21,975,923		
・法定福利費・通勤費	3,177,433		3,226,876		
・アルバイト給与	846,900	23,982,862	495,000	25,697,799	
2) その他経費					
・通信費	301,993		489,898		
・水道光熱費	174,114		199,676		
・旅費交通費	6,235,530		6,481,818		インタープリター交通費など
・広告宣伝費	1,803,903		1,292,808		イベントチラシ、eco-T通信など
・会議費	151,895		123,094		
・事務用品・消耗品費	887,566		1,135,665		
・講座・イベント等材料費	276,124		490,380		
・新聞図書・展示用品費	420,200		687,295		新聞・雑誌購読料、参考図書など
・リース料	1,024,709		543,000		業務車両リース、借上げバス、機材リースなど
・修繕費	271,590		200,986		備品修繕など
・地代家賃	1,869,210		1,852,200		
・保険料	109,885		92,280		ボランティア保険、行事保険
・租税公課	1,220,953		1,189,902		消費税など
・諸会費	61,318		57,820		
・福利厚生費	299,820		297,348		
・報酬	285,000		784,400		講師謝金など
・支払手数料	990,532		1,842,020		委託料・報酬、ごみ処理手数料、振込手数料など
・外注加工費	867,498		1,565,490		環境学習Webサイト制作、LED照明器具共同購入工事
・材料仕入高	520,373		2,190,105		LED照明器具共同購入
・雑費	3,000	17,775,213	3,000	21,519,185	
<b>2 管理費</b>					
運営、広報、経理、労務等に関する費用					
*各部門と管理部門に共通する経費は、部門別収支額によって控除しております					
1) 人件費					人件費分は従事割合により按分 賞与含む
・給与手当	2,397,975		2,783,450		
・法定福利費・通勤費	780,018	3,177,993	586,812	3,370,262	
2) その他経費					
・通信費	2,507		8,623		
・水道光熱費	1,936		3,648		
・旅費交通費	1,836		1,687		
・広告宣伝費	581		996		環境カレンダーなど
・接待交際費	11,675		8,500		お祝いのお花
・会議費	287		783		
・事務用品・消耗品費	1,962		9,752		事務用品、消耗品など
・新聞図書費	1,015		2,402		
・修繕費	344		714		
・地代家賃	20,790		37,800		事務所家賃
・保険料	155		0		
・租税公課	13,347		23,848		消費税など
・諸会費	682		1,180		中部リサイクル運動市民の会、自治会費
・福利厚生費	569		2,119		健康診断など
・支払手数料	2,671		26,219		IT、総務(経理・労務)支援、振込手数料など
・支払利息	4,058		5,514		
・雑費	0	64,415	5,000	138,785	
<b>3 法人税、住民税および事業税</b>	<b>525,980</b>	<b>525,980</b>	<b>54,560</b>	<b>54,560</b>	
<b>経常費用合計</b>	<b>45,526,463</b>		<b>50,780,591</b>		
<b>III 正味財産増減の部</b>					
当期正味財産増減額	1,225,140		△1,034,228		
前期繰越正味財産額	7,953,681		8,987,909		
次期繰越正味財産額	9,178,821		7,953,681		

●経常費用の部門別内訳

(単位:円)

科目	環境学習事業	環境学習等への支援・啓蒙事業	環境型商品等の普及促進事業	調査研究・政策提言事業	情報発信事業	環境学習施設等の管理運営事業	その他の事業	管理部門	合計
<b>1 事業費</b>									
<b>1) 人件費</b>									
・給与手当	120,000	225,000	0	0	800,000	18,813,529	0	0	19,958,529
・法定福利費・通勤費	18,228	36,456	0	0	127,598	2,995,151	0	0	3,177,433
・アルバイト給与	95,900	12,000	0	12,000	427,000	300,000	0	0	846,900
<b>人件費計</b>	<b>234,128</b>	<b>273,456</b>	<b>0</b>	<b>12,000</b>	<b>1,354,598</b>	<b>22,108,680</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>23,982,862</b>
<b>2) その他経費</b>									
・通信費	2,624	2,719	3,875	0	12,309	280,466	0	0	301,993
・水道光熱費	1,408	1,761	2,993	0	9,507	158,445	0	0	174,114
・旅費交通費	8,996	6,710	2,838	0	111,016	6,105,970	0	0	6,235,530
・広告宣伝費	422	528	898	0	107,851	1,694,204	0	0	1,803,903
・会議費	25,189	7,281	444	6,230	1,410	111,341	0	0	151,895
・事務用品・消耗品費	5,977	7,076	6,834	0	29,229	838,450	0	0	887,566
・講座・イベント等材料費	0	0	22,680	0	0	184,789	68,655	0	276,124
・新聞図書・展示用品費	738	1,053	1,569	0	12,477	404,363	0	0	420,200
・リース料	0	0	0	0	0	1,024,709	0	0	1,024,709
・修繕費	250	313	532	0	1,689	268,806	0	0	271,590
・地代家賃	15,120	18,900	32,130	0	102,060	1,701,000	0	0	1,869,210
・保険料	113	142	241	0	765	108,624	0	0	109,885
・租税公課	9,706	12,133	20,626	0	66,518	1,111,970	0	0	1,220,953
・議会費	496	620	1,054	0	3,348	55,800	0	0	61,318
・福利厚生費	414	518	880	0	22,495	275,513	0	0	299,820
・報酬	0	0	0	0	0	285,000	0	0	285,000
・支払手数料	1,943	2,428	4,452	0	13,112	968,597	0	0	990,532
・外注加工費	0	0	267,255	0	600,243	0	0	0	867,498
・材料仕入高	0	0	520,373	0	0	0	0	0	520,373
・雑費	0	0	0	0	0	3,000	0	0	3,000
<b>その他経費計</b>	<b>73,396</b>	<b>62,182</b>	<b>889,674</b>	<b>6,230</b>	<b>1,094,029</b>	<b>15,581,047</b>	<b>68,655</b>	<b>0</b>	<b>17,775,213</b>
<b>2 管理費</b>									
<b>1) 人件費</b>									
・給与手当	0	0	0	0	0	0	0	2,397,975	2,397,975
・法定福利費・通勤費	0	0	0	0	0	0	0	780,018	780,018
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,177,993</b>	<b>3,177,993</b>
<b>2) その他経費</b>									
・その他経費	0	0	0	0	0	0	0	64,415	64,415
<b>その他経費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>64,415</b>	<b>64,415</b>
<b>3 法人税、住民税および事業税</b>									
・法人税等	0	0	0	0	0	0	0	525,980	525,980
<b>合計</b>	<b>307,524</b>	<b>335,638</b>	<b>889,674</b>	<b>18,230</b>	<b>2,448,627</b>	<b>37,689,727</b>	<b>68,655</b>	<b>3,768,388</b>	<b>45,526,463</b>



## 2. 貸借対照表（二期比較）

2014年5月31日現在

(単位:円)

科目・摘要	2013年度		2012年度		備考(2013年度)
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金	357,327		372,107		
普通預金	17,200,195		14,794,327		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫、ゆうちょ銀行
売掛金	153,000		0		
前払費用	157,500		157,500		事務所家賃
立替金	142,959		187,028		
<b>流動資産合計</b>		18,010,981		15,510,962	
<b>2 固定資産</b>	0		0		
<b>固定資産合計</b>		0		0	
<b>3 投資等</b>					
保証金	450,000		450,000		事務所保証金
出資金	10,000		10,000		豊田信用金庫
<b>投資等合計</b>		460,000		460,000	
<b>資産合計</b>		<b>18,470,981</b>		<b>15,970,962</b>	
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
買掛金	546,507		204,934		事務用品、HP更新費用、チラシ作成費用など
未払金	2,530,230		2,675,897		5月分給与、社会保険、ボランティア交通費など
前受金	4,398,000		3,484,000		豊田市環境学習施設eco-T、あいちマスコ基金助成金
預り金	664,043		397,650		社会保険、源泉所得税、住民税
未払い法人税等	525,980		71,000		
未払い消費税	627,400		1,183,800		
<b>流動負債合計</b>		9,292,160		8,017,281	
<b>2 固定負債</b>	0		0		
<b>固定負債合計</b>		0		0	
<b>負債合計</b>		<b>9,292,160</b>		<b>8,017,281</b>	
<b>III 正味財産の部</b>					
前期繰越正味財産		7,953,681		8,987,909	
当期正味財産増加額		1,225,140		-1,034,228	
<b>正味財産合計</b>		<b>9,178,821</b>		<b>7,953,681</b>	
<b>負債および正味財産合計</b>		<b>18,470,981</b>		<b>15,970,962</b>	

### 3. 財産目録（二期比較）

2014年5月31日現在

(単位:円)

科目・摘要	2013年度		2012年度	
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現金預金				
現金 現金手許有高	357,327		372,107	
普通預金 三菱東京UFJ銀行 豊田南支店	1,569,451		2,213,294	
普通預金 豊田信用金庫 本店営業部	15,561,144		12,532,233	
普通預金 ゆうちょ銀行	69,600		48,800	
売掛金				
事業収益	153,000		0	
前払費用	157,500		157,500	
立替金	142,959		187,028	
<b>流動資産合計</b>		18,010,981		15,510,962
<b>2 固定資産</b>	0		0	
<b>固定資産合計</b>		0		0
<b>3 投資等</b>				
保証金	450,000		450,000	
出資金	10,000		10,000	
<b>投資等合計</b>		460,000		460,000
<b>資産合計</b>		18,470,981		15,970,962
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
買掛金				
事業費(事務用品費・広告宣伝費・支払手数料など)	546,507		204,934	
未払金				
給与手当	1,403,636		1,703,994	
法定福利費・通勤費	539,964		311,096	
事業費(交通費など)	520,000		488,000	
管理費(通信費など)	66,630		172,807	
前受金				
事業収益	3,564,000		3,465,000	
受取助成金	834,000		0	
会員会費	0		19,000	
預り金				
社会保険料	561,687		234,960	
源泉所得税	57,556		109,290	
住民税	44,800		53,400	
未払い法人税等	525,980		71,000	
未払い消費税	627,400		1,183,800	
<b>流動負債合計</b>		9,292,160		8,017,281
<b>2 固定負債</b>	0		0	
<b>固定負債合計</b>		0		0
<b>負債合計</b>		9,292,160		8,017,281
<b>正味財産</b>		9,178,821		7,953,681

## ※計算書類の注記

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日発表、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

### ・消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

### ・共通経費の按分方法

事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分し、事業費等の内訳に計上しています。

## 4. 監査報告

2013 年 6 月 1 日から 2014 年 5 月 31 日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正であることを認めます。

2014 年 7 月 12 日

監事 石村正行



監事

谷口 功



## 報告事項

### 1 2014年度事業計画（期間 2014年6月1日から2015年5月31日まで）

#### 【事業活動】

#### 1. 環境学習事業

##### （1）eco-Tでの取り組み

- eco-Tの通常対応

eco-Tで行ってきた渡刈クリーンセンターの見学、展示学習プログラム、個別の要望における講座を実施します。「教えるから聞く」というキャッチフレーズを掲げ、よい質問を蓄積し、共有をはかりながらインタープリテーションのレベルアップをはかります。

- 暮らしの環境学習推進校【充実】

平成26年度は16校と過去最多の申込みをいただきました。学習コーディネーターも出前講座を担うインタープリターも不足しがちです。また、モリコロ基金助成事業で取り組む「とよた環境学習・ESDガイドブック」が完成します。

学習コーディネーターや出前講座を担う人材の育成とともに、より深い環境学習に取り組みたい学校の対応を発展・成長させます。

- 低学年から高学年まで連続した環境学習への取り組み【充実】

小学4年生の公共施設見学を中心に環境学習を実施してきて、低学年、高学年と展開しています。今までの蓄積を活かし、低学年から高学年に向けた連続した環境学習プログラムのモデル作りを行います。

##### （2）eco-T以外での取り組み

- 環境学習の機会提供

環境学習Webサイトhibicoの記者育成や小学生～社会人に環境分野のボランティア活動に携わる機会の提供を行います。

- 主催講座の開催【充実】

eco-Tの環境学習では取り扱いにくいテーマや話題性のあるテーマを取り上げた当会主催の講座を開催します。現在決まっている講座は以下の通りです。

- ・6月5日（木）山里の恵みを感じる豆富づくり講座【終了】
- ・10月13日（月・祝）エコライフ&スマートライフ見学ツアー／オンパク事業連携
- ・11月8日（土）ミニ太陽光発電システム組み立て講座／オンパク事業連携
- ・2015年2～3月ごろ 環境基本計画など市の施策に関する勉強会

- ESDに関する取り組み

2014年「持続可能な開発のための教育（ESD）」の国際会議が名古屋市と岡山県で開催されます。それに合わせて、「持続可能な社会作りのための担い手の育成」という視点も踏まえた環境学習を深めたいと思っています。

明確な事業化はされていませんが、2014年が豊田市のESD元年になれるように、事業展開を実施したいと考えています。（一例として、環境学習・ESDガイドブックの作成・展開）

## 2. 環境学習等への支援、連携事業

- とよた環境学習・ESD 促進ガイドブックの作成  
小学校で環境学習に取り組む先生（学校）は、何らかの理由で限られています。eco-T の蓄積を元に、もっと気軽に環境学習に取り組んでもらいたいと、「とよた環境学習・ESD ガイドブック（モリコロ基金助成事業）」を作成します。  
3月に完成する予定で、くらしの環境学習推進校を中心に活用していきます。
- 環境学習や環境まちづくりイベントへの支援・出展  
交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行います。要請に応じた実施ですので、目標値は定めませんが、本来業務に支障がない範囲で引き受けていきます。
- さんしゅう ECO 倶楽部の発展  
3年間小規模事業所の CO<sub>2</sub> 削減の取り組みを行ってきました。今年度は小規模事業所への何らかの働きかけを維持しつつ、学校を通じて家庭の CO<sub>2</sub> 削減の取り組みを模索しています。  
（愛知県地球温暖化防止活動推進センター連携事業）
- とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営  
エコライフとよたを目的にする個人・団体に向けて事務所スペースの利用者を募集します。

## 3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

- 家庭向け電気の契約アンペアダウンキャンペーンの実施【発展】  
さんしゅう ECO 倶楽部で得た共同購入ならびに契約アンペアダウンのノウハウを家庭向けに転用します。まずは対象を会員に設定して試行を行います。  
小規模事業所向け LED ランプ搭載器具共同購入キャンペーンについては、関係者と協議をしつつ、実施の可否を検討します。
- 緑のカーテン普及事業  
eco-T 入口の緑のトンネルならびに3階調理室窓の緑のカーテンの設置、管理をします。また、有志により育成したゴーヤなどの苗をエコットフェスタで配布し、緑のカーテンを普及します。
- リユースイベントの地域展開  
これまで開催してきた「かえっこバザール」を eco-T の主催事業にするのではなく、サークル、学校、交流館などが自主開催できるように支援を行います。  
また、エコットフェスタで回収・提供した子ども服、陶磁器（食器）、本のリユースの仕組み化を検討し、資源が循環する社会づくりを試みます。また、これまでこども向けが中心でしたが、大人向けのリユースを検討していきます。
- 地産地消（食）の推進  
地産地消（食）の推進や障がい者の就労支援を目的に、エコットフェスタなど、イベントを開催する際には、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売する機会を作ります。  
自分達が暮らす地域を自分達が（買い）支えることの大切さを PR します。エコットフェスタ 2014 では 15 店に協力をいただきました。2015 年も同様に行っていきます。

#### 4. 調査研究、政策提言事業

- 新環境基本計画（平成 30 年策定予定）に向けた取り組み【新】  
平成 25 年に環境基本計画後期重点プロジェクトが策定され、当会でも計画への関心を高めようとパブリックコメントに合わせた学習会を開催しました。次の基本計画の策定まであと 3 年。さらに多くの市民に関心を高めようと、市民参加型で策定した他自治体の事例に学び、今後の展開を検討します。
- 各種委員会やネットワークへの参加  
環境活動の促進や環境まちづくりの推進に向けて様々な活動に参加します。  
現状で参画している取り組みは以下の通りです。
  - ・ 豊田市環境審議委員
  - ・ 豊田市環境学習連携会議
  - ・ 愛知県環境学習施設等連絡協議会
  - ・ とよた市民活動センター運営委員、市民活動フェスタアドバイザー（11/29 開催予定）
  - ・ 千年委員会（豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換）
  - ・ オールとよたオンパク事業
  - ・ 共働ひろげ隊（地域支援課）

#### 5. 情報受発信事業

- 環境学習 Web サイトの更新業務  
とよたエコファミリー向け行動検証と子育て中のお母さん向け「hibico（ひびこ）」の運用を引き続き行います。環境学習 Web サイトは、5 年目を迎え、今後の展開を整理する節目の年となっています。（豊田市環境政策課委託業務）
- 情報発信の充実
  - ・ 当会ホームページの見直し
  - ・ 当会リーフレットやメーリングリストなどの情報提供の充実
  - ・ eco-T のアクセス数アップ

#### 6. 環境学習施設等の管理運営事業

- eco-T での環境学習・運営業務
- リユース工房受付業務

#### 7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

- その他要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行います。  
例) 缶バッジの作成や機材の貸出、エコグッズの販売代行など

## 【法人運営】

### 1. 会員

種別	2013 年度末	目標	増減
正会員	26 人	30 人	+4 人
賛助・学生会員	44 人	70 人	+24 人
賛助・団体会員	2 団体		

### 2. 寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、積極的に寄付を募ります。寄付先は、当会のみならず、東日本大震災関連や市内市民活動、豊田市低炭素社会推進基金など趣旨に合わせて寄付先を選定します。

### 3. 会議の開催

#### (1) 通常総会

第6回通常総会は、2014年7月21日（月・祝）に、とよたエコフルタウンの見学会、地産地消レストランホガラカでの懇親会と合わせて開催します。

第7回通常総会は、2015年7月に開催する予定です。

#### (2) 理事会

月に1回程度開催し、中期ビジョンの策定や新規事業づくり、運営上の課題等についての話し合いを行います。

### 4. 理事・職員研修等

事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が積極的に参加できるよう、情報を収集し、参加を促進します。

### 5. 団体ビジョンの見直しや中期計画の策定

2017年にはeco-T開設10周年を迎えます。この節目を共に迎える有志と一緒に見直しを行います。

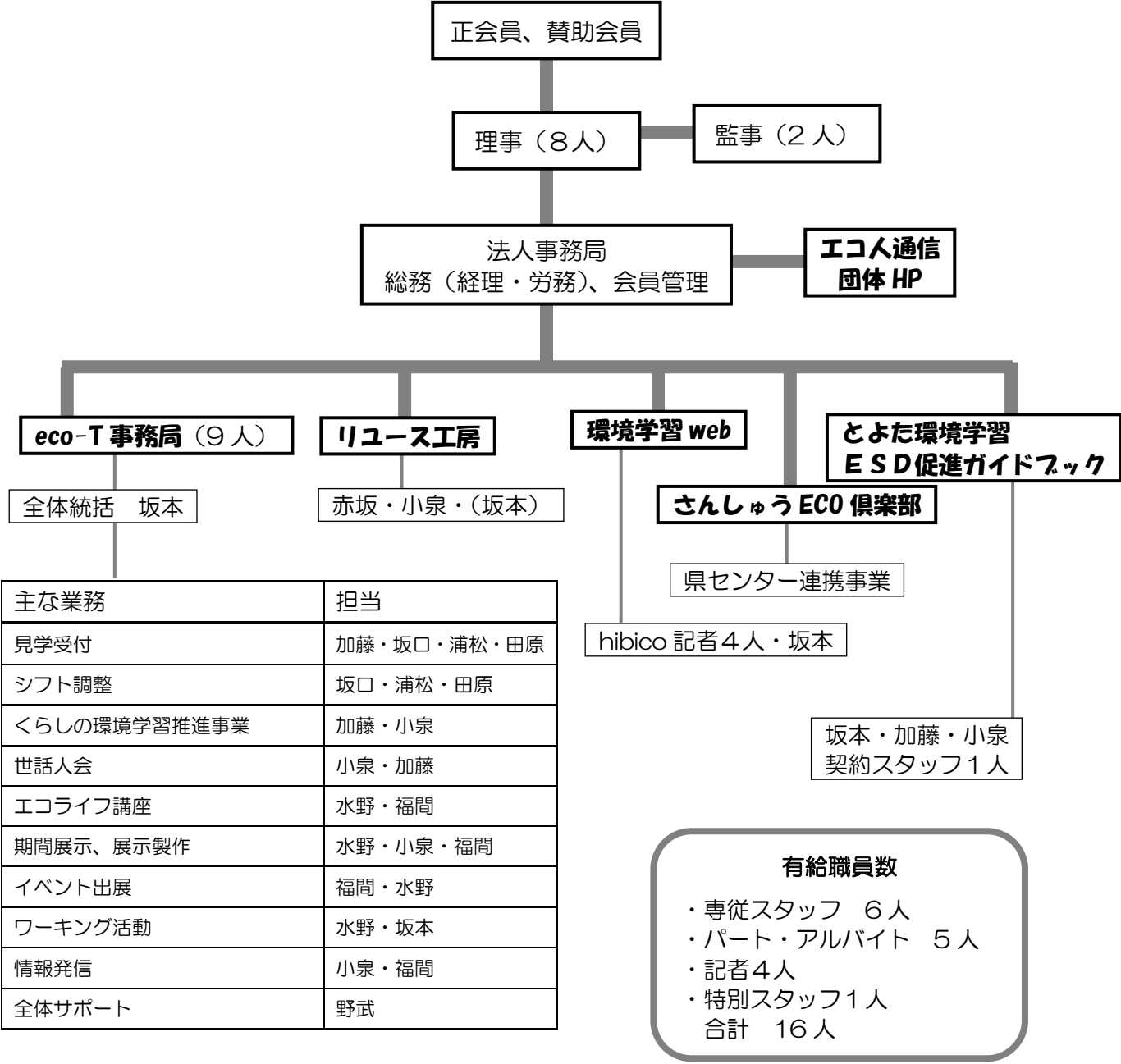
## 2. 2014年度収支予測

(期間 2014年6月1日から2015年5月31日まで)

科 目	金 額 (円)		備考
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
1) 正会員受取会費	300,000		正会員30名
2) 賛助会員受取会費	86,000	386,000	賛助会員・学生会員70名、団体2
2 事業収益			
1) 環境学習事業	0		
2) 環境学習等への支援、連携事業	36,000		環境学習・環境活動支援拠点
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	0		
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報受発信事業	1,944,000		環境学習Webサイト更新
6) 環境学習施設等の管理運営事業	44,604,000		豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房(6~3, 4~5月)
7) その他事業	0	46,584,000	
3 受取助成金	834,000	834,000	あいちモリコロ基金
4 受取寄付金	15,000	15,000	
5 その他収益			
1) 受取利息	1,800	1,800	
経常収益合計			47,820,800
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
1) 環境学習事業	0		
2) 環境学習等への支援、連携事業	32,400		人件費
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	30,000		緑のカーテン雑費(資材費など)
4) 調査研究、政策提言事業	50,000		
5) 情報受発信事業	1,749,600		環境学習Webサイト更新費用
6) 環境学習施設等の管理運営事業	36,769,200		豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房費用
7) その他事業	0	38,631,200	
2 管理費			事業部門と管理部門に共通する経費の扱分はせずに試算
1) 役員報酬	0		
2) 給料手当	2,240,400		法人運営
3) 福利厚生費	55,000		健康診断 等
4) 会議費	30,000		理事会12回、総会1回 等
5) 旅費交通費	170,000		交通費、駐車料金 等
6) 通信費	232,800		電話・FAX料、事務所インターネット、サーバードメイン、郵送料 等
7) 事務用品・消耗品費	180,000		事務所消耗品費 等
8) 新聞図書費	90,000		参考図書 等
9) 水道光熱費	180,000		事務所水道光熱費
10) 地代家賃	1,890,000		事務所費
11) 保険料	14,500		役員傷害保険(代表理事)
12) 諸会費	62,000		自治区・商店街費、その他会費
13) 支払い手数料	237,200		IT、総務関係のサポート、振込手数料
14) 租税公課	1,800,000		収入印紙、消費税(簡易課税)
15) 雑費	0	7,181,900	
3 法人税、住民税および事業税	592,560	592,560	
4 予備費	0	0	
経常費用合計			46,405,660
当期収支差額			1,415,140
前期繰越収支差額			9,178,821
次期繰越収支差額			10,593,961



特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト組織図



〔理事の役割〕

- 理事会は、事業が団体のミッションに沿っているかを確認する
- 理事は、組織としての意見を持つ
- 理事は、理事会に参加して適切な意見を言う
- 理事は、事業に適宜アドバイスを行う
- 理事は、かかわれる範囲で役割を担い現場の状況を知り、理事会で報告する

〔スタッフとしての期待〕

- NPO のミッションを理解し実践する
- 一所懸命かつ臨機応変に活動する
- 自ら考えインタープリターや地域の力を引き出すよう行動する
- 常に学ぶ姿勢を持つ
- 笑顔を忘れない

\* 理事会、スタッフ会議で策定

×毛



**特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト**  
(2014年7月)

●事務所

〒471-0025 豊田市西町1丁目88番地  
カニックビル5階

TEL 0565-50-5684 FAX 0565-50-5568

●豊田市環境学習施設 eco-T

〒470-1202 豊田市渡刈町大明神39-3  
渡刈クリーンセンター内

TEL 0565-26-8058 FAX 0565-26-8068

●リユース工房 \*住所はeco-Tに同じ

TEL 0565-42-6010